

実行委員会 2022年7月現在

- 【委員長】 前川 徹 東京通信大学 情報マネジメント学部 教授
- 【委員】 井上 善海 法政大学大学院 政策創造研究科 教授
井上 博貴 住友化学株式会社 レスボンシムケア部(品質保証) 担当部長
木澤 正 一般社団法人 日本ボイラ協会 品質システム審査センター センター長
高橋 徹 公益社団法人 日本消費生活アドバイザー・コンサルタント・相談員協会 元理事
寺澤 富雄 一般社団法人 日本鉄鋼連盟 標準化センター事務局 事務局長
富岡 伸一 サントリーマーケティング&コマース株式会社 品質保証推進部 技術顧問
中野 奈津美 株式会社高島屋 顧問(美術部担当)
野沢 清 公益財団法人 日本生産性本部 サービス産業生産性協議会 部長
星川 安之 公益財団法人 共用品推進機構 専務理事・事務局長
堀越 太 公益社団法人 自動車技術会 規格グループ 事務局次長
村川 賢司 村川技術士事務所 所長
山本 隆司 東京農工大学 名誉教授
山本 宏史 TOTO株式会社 技術本部 もの創り人財育成センター 参与
- 【企画協力】 国立研究開発法人 産業技術総合研究所
国立研究開発法人 新エネルギー・産業技術総合開発機構

後援

- 経済産業省
- 金融庁
- 厚生労働省
- 国土交通省
- 消費者庁
- 総務省
- 農林水産省
- 公益社団法人 関西経済連合会
- 公益社団法人 経済同友会
- 一般社団法人 国際標準化協議会
- 国立研究開発法人 産業技術総合研究所
- JIS登録認証機関協議会
- 国立研究開発法人 新エネルギー・産業技術総合開発機構
- 独立行政法人 製品評価技術基盤機構
- 中央労働災害防止協会
- 中部標準化懇話会
- 独立行政法人 統計センター
- 株式会社 日刊工業新聞社
- 一般財団法人 日本科学技術連盟
- 一般社団法人 日本経済団体連合会
- 日本商工会議所
- 公益財団法人 日本生産性本部
- 一般社団法人 日本品質管理学会
- 一般社団法人 品質工学会
- モノづくり日本会議

協賛

- 一般財団法人 エンジニアリング協会
- 一般財団法人 化学物質評価研究機構
- 化成工業協会
- 紙バルブ技術協会
- 一般社団法人 火力原子力発電技術協会
- 公益財団法人 共用品推進機構
- 一般社団法人 軽金属製品協会
- 一般財団法人 建材試験センター
- 高圧ガス保安協会
- 一般社団法人 産業環境管理協会
- JIS懇話会
- 公益社団法人 自動車技術会
- 公益社団法人 消費者関連専門家会議
- 一般社団法人 情報科学技術協会
- 一般社団法人 情報処理学会
- 一般社団法人 情報通信ネットワーク産業協会
- ステンレス協会
- 公益社団法人 精密工学会
- 一般社団法人 セーフティグローバル推進機構
- 公益社団法人 石油学会
- 石油連盟
- 一般社団法人 セメント協会
- 全国生コンクリート工業組合連合会
- 公益財団法人 鉄道総合技術研究所
- 一般財団法人 電気安全環境研究所
- 一般社団法人 電気学会
- 一般社団法人 電子情報技術産業協会
- 一般社団法人 電子情報通信学会
- 一般社団法人 電池工業会
- 一般社団法人 日本アルミニウム協会
- 一般財団法人 日本ウエザリングテストセンター
- 一般社団法人 日本運搬車両機器協会
- 一般社団法人 日本エネルギー学会
- 公益社団法人 日本オベレーション・リサーチ学会
- 一般社団法人 日本化学工業協会
- 一般社団法人 日本環境測定分析協会
- 一般社団法人 日本機械学会
- 日本金属継手協会
- 一般社団法人 日本金属熱処理工業会
- 一般社団法人 日本クレーン協会
- 公益社団法人 日本経営工学会
- 一般社団法人 日本計量機器工業連合会
- 一般社団法人 日本計量振興協会
- 日本水晶デバイス工業会
- 公益社団法人 日本下水道協会
- 一般社団法人 日本建材・住宅設備産業協会
- 一般社団法人 日本建設業連合会
- 一般社団法人 日本航空宇宙工業会
- 一般社団法人 日本工作機械工業会
- 一般社団法人 日本工作機器工業会
- 一般社団法人 日本ゴム工業会
- 公益社団法人 日本材料学会
- 一般社団法人 日本産業機械工業会
- 一般社団法人 日本産業車両協会
- 一般財団法人 日本情報経済社会推進協会
- 一般社団法人 日本照明工業会
- 公益社団法人 日本食品衛生学会
- 公益社団法人 日本食品衛生協会
- 一般社団法人 日本伸銅協会
- 公益社団法人 日本水道協会
- 公益社団法人 日本設計工学会
- 公益社団法人 日本騒音制御工学会
- 一般社団法人 日本塑性加工学会
- 日本暖房機器工業会
- 一般社団法人 日本鉄鋼協会
- 一般社団法人 日本鉄鋼連盟
- 一般社団法人 日本鉄道車輛工業会
- 公益社団法人 日本電気協会
- 一般社団法人 日本電気計測器工業会
- 一般社団法人 日本電機工業会
- 一般社団法人 日本電機制御機器工業会
- 一般社団法人 電気設備学会
- 一般社団法人 日本電線工業会
- 一般社団法人 日本時計協会
- 一般社団法人 日本トライボロジー学会
- 一般社団法人 日本塗料工業会
- 日本内燃機連合会
- 一般社団法人 日本ねじ研究協会
- 一般財団法人 日本燃焼機器検査協会
- 一般社団法人 日本配線システム工業会
- 一般社団法人 日本バルブ工業会
- 一般社団法人 日本物流システム機器協会
- 日本プラスチック工業連盟
- 一般社団法人 日本フルードパワー工業会
- 一般財団法人 日本文化用品安全試験所
- 一般社団法人 日本ベアリング工業会
- 公益社団法人 日本保安用品協会
- 一般社団法人 日本ボイラ協会
- 一般社団法人 日本防錆技術協会
- 公益社団法人 日本包装技術協会
- 一般社団法人 日本溶接協会
- 一般社団法人 日本冷凍空調工業会
- 公益社団法人 日本ロジスティクスシステム協会
- 一般社団法人 日本ロボット工業会
- 一般財団法人 バイオインダストリー協会
- 一般財団法人 光産業技術振興協会
- 一般社団法人 ビジネス機械・情報システム産業協会
- 一般社団法人 プロジェクトマネジメント学会
- 一般財団法人 マイクロマシンセンター

産業標準化推進月間事業

標準化と品質管理

全国大会 2022

一般申込	
11,000円(税込)	
維持会員の方	
ご加入1口につき1名様	無料 ※8月上旬頃にご招待のご案内をいたします。
口数以上のお申込	5,500円(税込) / 1名様

※有料のお申込の場合は、請求書をお送りしますので、開催前日までにお振込ください。尚、欠席された場合にも原則として返金はいたしませんので、予めご了承ください。

会場

都市センターホテル 東京都千代田区平河町2-4-1

- 有楽町線「麴町駅」1出口 徒歩4分
- 南北線・有楽町線・半蔵門線「永田町駅」9b出口 徒歩4分
※有楽町線・半蔵門線は、南北線の改札を経由して9b出口へ
- 丸の内線・銀座線「赤坂見附駅」D出口 徒歩8分

公共交通機関でのご来場にご協力をお願いいたします。

維持会員のご案内

維持会員制度は、当協会の事業目的に対してご理解いただける方に、私どもが取り組む標準化推進活動をご支援いただくための制度です。当協会は、会員の皆さまとのコミュニケーションを深め、会員の皆さまから、より一層のご支援が得られるような活動に取り組んでまいります。皆さまの維持会員制度へのご参加を、お待ち申し上げております。

【会費】1口につき年額2万円(不課税)

【特典】●特別割引にて規格をご購入いただけます。

- 当協会主催の品質管理及び標準化に関する講習会・セミナーに特別割引にてご参加いただけます。
- 当協会主催の「標準化と品質管理全国大会」、「標準化と品質管理地区大会」に1口につき1名様を無料でご招待いたします。
- JA Webdesk 維持会員専用サービスがご利用いただけます。

詳しくは
出版情報サービスチームへ
Mail: csd@jsa.or.jp

お申込はWEBで

SQ大会 2022

検索

<https://www.jsa.or.jp/>



ウェルビーイング
共創で実現するWell-beingな社会
—未来を拓く新たな時代の品質と標準化—

標準化と品質管理全国大会は、幅広い分野から多彩な講師をお招きし、毎年10月に開催しております。

本年度は「共創で実現するWell-beingな社会」をテーマとして開催いたします。

聴講対象「入門・学生・一般」、「経営層」、「管理職層」、「専門家(品質管理・設計・開発・営業)」ごとに、各組織の標準や品質に関わる取組みや最新動向、戦略などを幅広くご紹介いたします。

皆さまの業務にお役に立つ講演をご用意いたしました。是非ともご参加くださいますようお願い申し上げます。

10月5日(水) 10:00~16:00

都市センターホテル および オンライン

これまで全国7か所で開催してまいりました「標準化と品質管理地区大会」を全国大会に統合する形で開催いたします。

産業標準化事業表彰表彰式

10月24日(月) / 都市センターホテル

企画協力



【聴講対象】

入門	入門・学生・一般
経営層	経営層
管理職層	管理職層
専門家	専門家(品質管理・設計・開発・営業)

ご注意

- オンライン配信にはZoomを利用します。
- 講演時間・講演タイトル・講演者は都合により変更する場合があります。
- 最新のプログラムは、当会Webサイト(<https://www.jsa.or.jp/>)をご参照ください。
- 新型コロナウイルス感染拡大状況により開催形式が変更となる可能性がございます。
- 各講演は事前予約制ではありません。当日、ご自由に講演をお選びいただくことができます。会場で聴講の場合は、会場によって満員となる可能性もございますので、あらかじめご了承ください。

10:10 - 11:10

講演 1	経営層 標準、政策、標準化戦略
---------	--------------------

標準の戦略的な活用の推進について

経済産業省
産業技術環境局基準認証政策課 課長
比良井 慎司

近年、デジタル化の進展、SDGsやカーボンニュートラル、それに伴う新たなビジネス機会の創出など、産業構造やビジネス環境が大きく変化しています。こうした状況の下、企業が標準化をはじめとするルール形成に積極的に取り組み、優れた技術などを社会実装し、市場を創出していくことの重要性が高まっています。本講演では、経済産業省の標準化政策の方向性についてご紹介します。

講演 2	経営層 標準、SDGs、環境、ポストコロナ
---------	--------------------------

プラスチック循環社会に向けての技術開発と品質保証 ～「すてる」をなくす、「みらい」をつくる～

サントリーホールディングス株式会社
執行役員/サステナビリティ経営推進本部 副本部長 兼 サステナPETチームリーダー
藤原 正明

GHG削減、海洋汚染対策に向けプラスチック循環社会が求められています。“すてる”をなくす、“みらい”をつくる”は、異業種各社様と立ち上げた循環社会実装の為に「アールプラスジャパン社」の経営理念です。この様な社会づくりに向け、サントリーは2030年にグローバルでPETに用いる化石由来原料の0化に向けて活動を進めています。この活動の中での技術開発、品質保証の進捗についてご紹介します。

11:30 - 12:30

講演 3	入門 標準、高齢化社会、アクセシビリティ
---------	-------------------------

健康・医療・介護へのICT活用と国際標準化

東洋大学
名誉教授
山田 肇

健康・医療・介護分野の中心は「治療」でしたが、ICT活用によって「予防」に重点が移りつつあります。生活習慣病ハイリスク者の日常をモニタリングして生活習慣の改善を促し、発病を未然に防ぐ技術が典型です。ICTも活用して高齢者の社会参加を促進すると介護状態への移行を遅らせられます。この講演では、研究開発の動向を紹介し、活発化しつつあるIEC、ISOでの標準化活動についてご説明します。

講演 4	経営層 品質、品質人材、品質保証、教育
---------	------------------------

組織の持続的発展を支える“人材育成” ～品質を核にする教育の実践～

村川技術士事務所
所長
村川 賢司

顧客価値をもたらす製品・サービスを創るうえで、組織の価値観や技術を正しく受け継ぎ、経営環境の変化に即応した問題・課題の解決に優れた人材が求められています。しかし、変容する顧客・社会のニーズ・期待に的確に対応できる人材育成に苦慮することも多々あります。本講演は、組織の持続的発展を支える基盤に品質を核にする教育を据え、人材育成の考え方、人を育てる仕組み、多様な研修プログラムなどの実践例をご紹介します。

13:30 - 14:30

講演 5	経営層 品質、サービス、幸せ度
---------	--------------------

新たな価値創造に向けたサービスエクセレンスモデルの活用 ～「顧客満足+カスタマーデライト」による顧客ロイヤルティ創出～

東京大学
総括プロジェクト機構
サービスエクセレンス総括寄付講座 特任教授
水流 聡子

顧客ロイヤルティは、次の購買の際に、他社製品との比較や検討をすっ飛ばしてショートカットした再購入行動を引き起こします。顧客ロイヤルティを高めるには、顧客満足だけではだめで、カスタマーデライトを顧客に感じていただくことが重要となります。カスタマーデライトを生む優れた顧客体験を、一貫して提供できる組織の能力要素が、サービスエクセレンスモデルとなっています。ぜひ有効に活用していただきたいと思います。

講演 6	管理職層 品質、審査・監査・レビュー、ポストコロナ
---------	------------------------------

グローバル品質保証の実際 ～コロナ禍などの動きの中で～

IGQクリニック
代表
石川 保

コロナ禍や各種紛争などグローバルでの事業活動が大きく変化する中で、2019～2020年にJSA傘下で開催した「グローバル品質保証研究会」活動の概要をご紹介します。日本の製造メーカの海外展開でのキーポイントを検証します。海外展開の事業モデルは、M&A～OEM～自社工場など多岐にわたっており、QMS・現場QA活動などがどうあるべきかやその基本となる人材育成などを事例も含めてご紹介します。

14:50 - 15:50

講演 7	入門 標準、ドローン・空飛ぶクルマ、安全
---------	-------------------------

次世代エアモビリティの国際標準化

国立研究開発法人 産業技術総合研究所
インダストリアルCPS研究センター 主任研究員
岩田 拓也

ドローン技術を活用した次世代エアモビリティシステムが世界中で広く検討され始めている中で、安全性や性能、利便性、快適性などのエクセレント品質をどのように確保していくかは大きな課題になっています。未来を拓く新たな次世代エアモビリティに関する様々な指針や法改正などが検討される中、チャレンジすべき技術課題や品質と標準化について、我々の取組みや現在の動向、将来の展望をご紹介します。

14:50 - 16:00

講演 8	管理職層 品質、JISマーク、リモート審査	専門家
---------	--------------------------	-----

JISマーク表示制度 ～指摘事例・よい事例等、最新審査情報～

JIS登録認証機関協議会
インターテック・サーティフィケーション株式会社
JIS認証部 JIS認証審査員
森 政伸

コロナ禍にあっても、安全・安心を担うJISマーク製品表示制度は、ますます重要な役割を果たさなければなりません。リモート審査の実施も事例が始め、リモート審査を含めた最新の審査事情をご紹介します。また、審査での指摘事例・是正内容をお伝えするとともに、品質管理のよい事例をご紹介します。今回も適切な品質管理の維持に有益な情報をご提供します。

●敬称略

10:00 - 10:10

会場 I

主催者挨拶・開会宣言

オンライン

会場 II